

吟道月報

No.39

50.10.5

碩心会

華な首響効果と相俟つて、予期しない感謝の言葉と綴友、末ご人方からいただいた

吟道夜はなし(十)

慰霊祭に於ける

献歌 朗詠の思出

会長 三井 雲五山

昭和四十一年広島県の江田島で綴友戦没者の合同慰霊祭を百十名集って行った。旧兵学校近くのお寺で、なじみの老僧の読経に次いで、自作の短歌二首と献歌朗詠として織込んでもらい、感激に胸つまりながら、涙と共に朗詠。あちこちでのすすり泣きの声に、自らも又、涙をこども得なかつた思い出は忘れられない。

四十四年には、京都の名刹南禅寺の本堂で、管長ひろくたる読経に次いで、松口月城先生の句戦と律詩一篇と綴友の献歌を合わせ吟じ、本堂の見

この度は、最後の合同慰霊祭と高野山金剛峯寺の宝戒院で行いました。あいにく早急審査会と重なり、皆林に大変御迷惑と、お骨折りを煩わして済まなく思つて居ります。

早朝六時半の清浄・静寂の本堂で末ご人、綴友の献歌の短歌、長歌に、西郷南洲の月照十七回忌の十有を三十と代文させていただき、綴友八十九柱の望に心を込めて朗詠させていただき、一人の感激でありました。

詩吟を始めていろいろな意味で、よかつたなあと感じて居ますが、友人や遺族の方々の、心のこもつた歌を代つて朗詠させていただき、その喜ばれるお顔を拜見して詩吟をやつていて、よかつたなあ、としみじみ思いました。

碩心会本部関係

◎ 逗子市文化祭は十一月二十三日(日)一二、三分より、工務完成の図書館ホールで開催されます。碩心会から左記三十名が出陣します。

- 逗子支部 A 八名
- 逗子支部 B 三名
- 桜山支部 五名
- 沼間支部 四名
- 建設支部 四名
- 銀詠支部 四名
- 山ノ根支部 二名

◎ 葉山町文化祭講吟・詩舞の部は、十一月三日、葉山福祉会館で行われます。

◎ 会員異動

退会方員

- 52 長柄支部 鈴木 一男

退会々々員(つぎ)

| | |
|-----------|-------|
| 長柄支部 | 石井 基 |
| 長柄支部 | 菊池 和子 |
| 78 大船支部 A | 村川 香山 |
| 82 逗子支部 A | 菊池 園泉 |
| 建設支部 | 北沢ユキ子 |
| | 広木 忠厚 |

新会員

| | | |
|--------|-----------|----------------------------------|
| 建設支部 | 鈴木 君義 | 逗子市桜山2の2の21 電71-6641-1番 |
| 下山口支部 | 三橋 澄子 | 葉山町下山口一五〇〇 電(カ)一三四八番 |
| 下山口支部 | 坂入 止 | |
| 大船支部 A | 松永 武可(静京) | 戸塚区戸塚町 一〇〇四番地 電〇四五(八八)四三九六 |
| 銀詠支部 B | 橋本 公子 | 逗子市逗子5の2の2 電(カ)ニ七七七番 |
| 銀詠 B | 原田 初江 | 逗子市逗子5の2の57 電(カ)二四〇一番 |

戸塚支部吟行会

蒲谷 蒼風

農作業や務めの日々多忙な戸塚支部は八月三日、三井先生をお迎えし、大山に夏期納涼を兼ね吟行会を行つた。

車三台に分乗、午後三時鈴木支部長宅を出発。約一時間位にて大山町の駐車場に着き、車を降り土産屋の軒並の石段を登り、途中より登山留車に乗り、頂上にて下車、境内の清水に身を清め、阿夫利神社に会員一同参拜、支部の発展を祈願す。境内より眼下に開く伊勢原、赤野、平塚を一望する風景が目にとつた。

山々に夕暮れ迫る頃、目指す根岸旅館に着く入浴後、三井先生、支部長の挨拶あり、続いて各自の拙吟を行い終つた所で各々の余興あり、且つ一献傾けつつの合吟ありで和気あいあいの一時を過し愉快な楽しい吟行会であつた。

総務より

總本部主催によるオ二十回、二十一回吟道夏季大学講師吹込みのカセットテープ御希望の方は、十月二十日頃迄に、電話で結構ですから、総務千葉達、支部毎にまとめて御申込み下さい。テープの内容は、吟道九月号の14、15頁に載つて居ります。

尚、テキスト(上級用600円、初級用500円)も御入用の方は、同時に御申込み下さい。カセット、テープの価格は、二千円に送料五〇円がプラスされます。